



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.419

2025(令和7)年4月6日(日)発行



■ **はらまち九条の会** は、戦争放棄の憲法9条を守り、永久に「戦争をしない国・日本」であることを願い、「鈴木安蔵の出身地の九条の会」を誇りに活動する自由な市民の会です。支持政党や宗教を問わず、何の拘束もなく、匿名でもご入会ください。■結成は2005年12月、今年20年目に。会員は南相馬市原町区を中心に337名。■会費は年千円。会報を隔月で発行しています。

6月15日(日)

会場：JR原ノ町駅前・南相馬市マルチメディアホール

○午後1時～2時 **「はらまち九条の会」総会**

○午後2時30分～4時40分 **映画『日本の青空』上映会**

会報「九条はらまち」No.418でもお知らせしたように、『日本の青空』は小高区出身の憲法学者鈴木安蔵を主人公に「日本国憲法」の成立過程を描いた、2007年制作の劇映画です。「小高・はらまち九条の会」など全国からの支援で制作され、2007年小高や原町で封切りの上映会が開催され、その時ご覧になられた方も多いことでしょう。

今回は 入場無料で、どなたでも自由にご鑑賞ください。上映時間は123分です。

○なお『日本の青空』は、6月1日(日)午後1時～3時 小高区浮舟文化会館でも「鈴木安蔵を讃える会」の主催で、入場無料で上映されます。

午後1時からの「総会」は、昨年の総会に引き続き、これからの「はらまち九条の会」の役員や事務局員、運営や活動について皆さんからご意見を出していただき話し合う大事な総会になると思います。積極的なご発言をよろしくお願いいたします。

憲法記念日「意見広告チラシ」の新聞折り込み

＜表面＞▶

小高区出身の
憲法学者鈴木安蔵の
紹介！



◀＜裏面＞

私たちは
世界のどんな戦争にも
反対です！

○今年も5月3日の憲法記念日に南相馬市の全新聞朝刊約1万5千部に、＜左・縮小コピー(原案)＞の「意見広告チラシ」を折り込みます。世界のすべての戦争に反対の意志表示と現憲法の起草者鈴木安蔵の紹介です。○この活動は2008年から開始したので今年で14年(回)目。○全会員さんに郵送いたします。ご活用ください。



「日本国憲法の間接的起草者」鈴木安蔵を主人公に 「憲法」誕生の真相を描いた映画 **日本の青空**

〈鈴木安蔵 すずきやすぞう とは〉



鈴木安蔵は1904
(明治37)年3月3日
に南相馬市小高区で
生まれた。相馬中学
校(現・相馬高校)、
仙台の第二高等学校
を経て、京都帝国大
学文学部哲学科に入学するが、翌年経済
学部へ転部する。

1926年1月の学連事件で逮捕(治安維持法の初適用)、有罪となり大学を自主退学する。2年間の入獄中に憲法の研究に没頭し、日本初の社会科学としての憲法学を確立した。

第二次世界大戦後、民間の7人で構成された「憲法研究会」の中心として「憲法草案要綱」を作成し1945年12月に公表する。それがGHQに着目され高い評価を受け、現在の日本国憲法の骨子となる。その意味で鈴木安蔵は「日本国憲法の間接的起草者」とよばれる。

その後、静岡大学、愛知大学、立正大学などで学生を指導。戦争を放棄し基本的人権を保障した民主的な日本国憲法の普及と護憲運動に力を尽くした。2007年、日本国憲法の誕生過程は『日本の青空』として映画化された。

1983(昭和58)年8月7日に、79歳で死去された。

(小高区上町 鈴木家住宅前の案内板より)



初めての方も
もう一度
見直したい方も

郷土の偉人に
誇りを!

《ストーリー》

雑誌編集部の派遣社員・沙也可(田丸麻紀)は、特集企画の「日本国憲法誕生の原点を問う!」で、名も知らぬ憲法学者・鈴木安蔵(高橋和也)の取材を進めることになる。

戦後まもなく新しい憲法の制定が望まれたが、日本政府の松本案は大日本帝国憲法と代わり映えしないもので、GHQ(連合国軍総司令部)にあっさりとはね返された。しかし鈴木安蔵を中心として、高野岩三郎(加藤剛)、森戸辰男、室伏高信ら民間人7人による「憲法研究会」が作成した憲法草案が、実はGHQ案のお手本になっていたという事実がわかる。

安蔵の娘たち(水野久美、左時枝)への取材に成功した沙也可は、託された安蔵本人の当時の古びた日記帳を手がかりに、妻・俊子(藤谷美紀)との夫婦愛、そして日本国憲法をめぐる真実のドラマを明らかにしていく……。

■キャスト：高橋和也 藤谷美紀 田丸麻紀
加藤 剛 戸川 幸夫 水野久美 左 時枝
岩本多代 ナレーション：山本 圭
■スタッフ：監督 大澤豊 原作脚本 池田太郎

《映画のみどころ》

- ①鈴木安蔵は昭和2年23歳で俊子さんと結婚。俊子さんの内助の功で憲法の研究ができたこと、また俊子さんの折々の適切なアドバイス、特に平和条項についての発言に注目です。
- ②「憲法研究会」の7名のそれぞれの発言や、一番若かった鈴木安蔵の役割を考えてみたい。
- ③日本政府案を執筆しGHQに拒否された松本烝治、外務大臣吉田茂や白州次郎の役割は。
- ④GHQのホイットニー准将、ラウエル中佐、ハーバート・ノーマン、ベアテ・シロタに注目。
- ⑤2007年制作の18年前の映画でも新鮮です。エンドロールで映画制作に協力した全国の団体、九条の会や個人名が流れますが、知り合いの名前がたくさん登場して驚かされます。